



# 第1467回例会

2025年1月21日(火) ホテルグランテラス帯広

## 会長挨拶

会長 L.三谷 暁



皆様こんばんは

1995年1月17日 5時46分、6434人が亡くなった、阪神淡路大震災から早や30年となりました。

最大震度7の地震では、約10万5千棟の住宅が全焼し、直接死の72%が建物倒壊などによる「窒息、圧死」でした。

1995年に耐震改修促進法が施工され、戸建住宅、マンション、公共施設(学校、市町、庁)の耐震化が進んでいくことになります。

阪神淡路大震災が起きた1995年は「ボランティア元年」と呼ばれる年です。今ではボランティアは、被災地支援に欠かせぬ存在となりました。

ボランティア活動、地域奉仕活動(ライオンズ)、当クラブも社協と覚書を

かわし、アラート委員会を設置、この地域の災害時には奉仕活動を自発的に無償で奉仕活動をする、多くの支援団体も生まれました。

ライオンズも災害対応のシステムの一角になりました。

行政に届かない小さな声をすくい上げれる、多様な役目を目指し、奉仕活動ができるライオンズでありたいと思います。

## 幹事報告

幹事 L.松浦 勝司



(1) 去年12月1日に行われた 児童養護施設十勝学園お餅つきの学園生からお礼の寄せ書きが来ています

(2) ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
北見キャビネット事務局から 1月24日(金)  
事務局休局のお知らせが来ています

## 会員スピーチ

「エジプトを代表する心見の世界遺産の紹介」

L.田辺 宏

